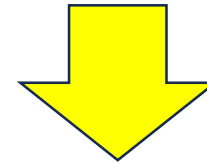


## リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立安慶田中学校

## 【取組内容①】標準仕様のツールを積極的に活用し、自立した学習者を目指した学びのスキルの段階的な指導

	F	G	H	I	P	Q	R	S	
12									
13	課題	学習内容	めあて	1	今日の目標 よく見て描こう	5	今日の目標 下書きに彩色しよう。	6	今日の目標
14				月日	5月19日(金)	月日	5月22日(月)	月日	
15	風景画を描く (私たちの学校)	・スケッチをする。 ・私たちの学校を描く	(1) 描く場所を決定しよう。 (2) スケッチができる。 (3) 彩色をすることが出来る。	A	スケッチ		彩色		
16									
17	課題	学習内容	めあて	1	今日の目標	5	今日の目標	6	今日の目標



- ・ これまでは教師が電子黒板などで学習の流れを提示し、学びの手引きとして示していたが、現在はクラスルームに移行し、生徒が個別で学習の流れを確認している。更なる標準仕様の活用に向けて活用法を共有していく。



Google Classroom

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立安慶田中学校

## 【取組内容①】 標準仕様のツールを積極的に活用し、自立した学習者を目指した学びのスキルの段階的な指導

これまでは、  
板書にて  
学習の流れを提示。

千ノ組(2023 国語)

自 祇園精舎

9:15 (最終編集: 13:29)

10点

めあて：作品を貫く仏教の根本思想「無常観」について知ろう。

1. 見通しを立てる (スプレッド) . . . . . 課題設定
2. 『平家物語』の動画を視聴しながら、説明を教科書にメモする。 情報収集
3. 『平家物語』の冒頭文「祇園精舎」の口語訳を読む。
4. 根本思想を表す2つの四字熟語を古文から抜き出し、四角で囲む。
5. 2つの四字熟語と同じ意味の内容を古文から見つけ、線を引く。
6. 学んだことをジャムボードにまとめる。(構造化)
7. ジャムボードをスクショしてスライドに貼り、まとめを書く。・まとめ表現
8. 古文の歴史的仮名遣い
9. 七五調のリズムに注意
10. ふり返り

2-2「教壇」  
Google スプレッドシート

祇園精舎の

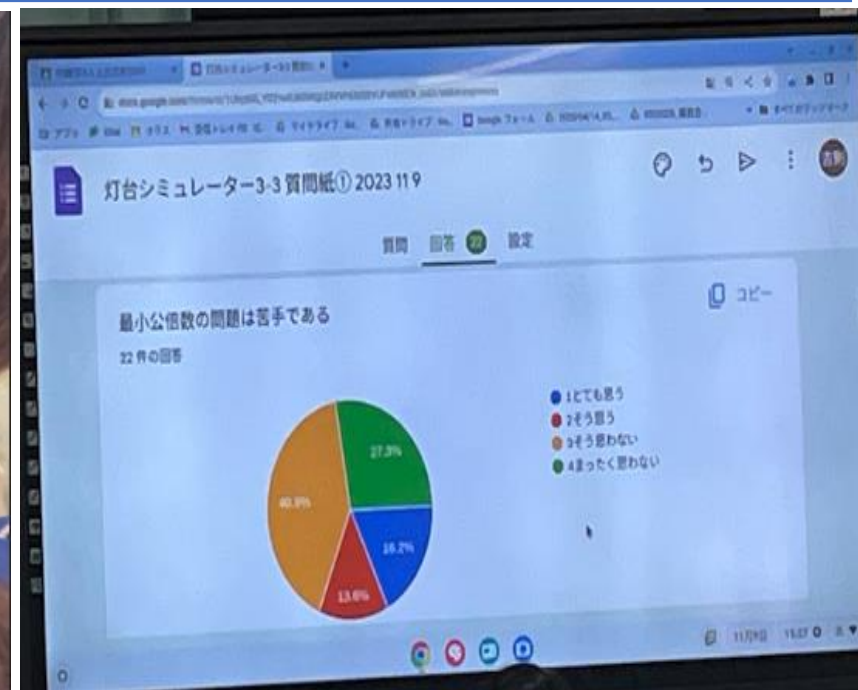
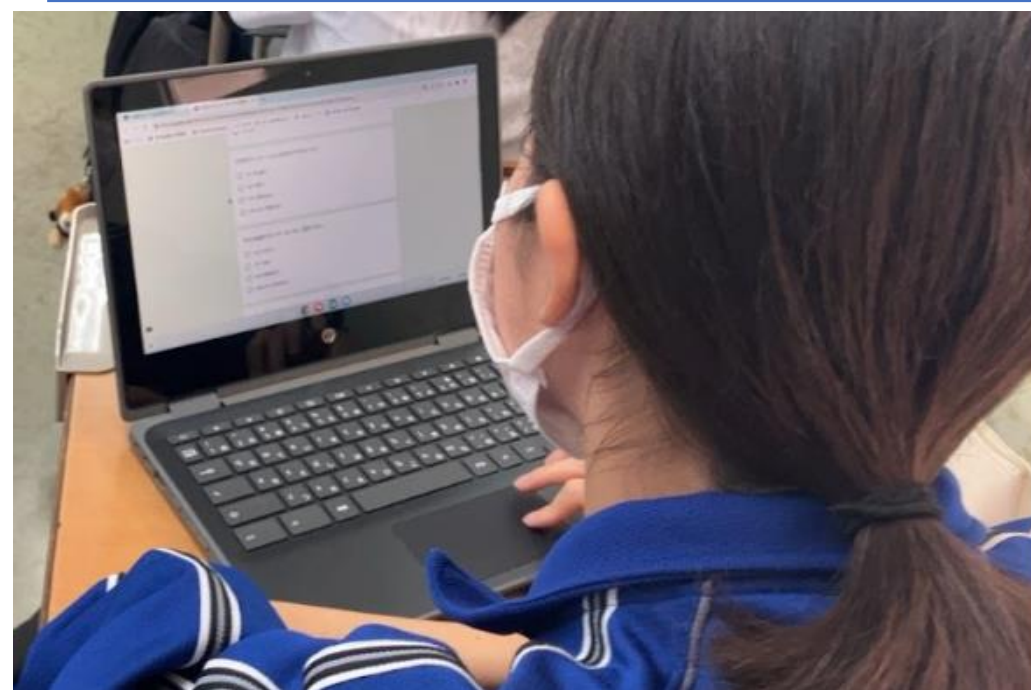


クラスルームを活用して授業の流れを提示。  
端末に情報を載せることで板書が精選されて  
きている。生徒に対して学び方をスモールス  
テップで繰り返し指導を行うことでクラウド  
ツールなどのスキル取得を図っている。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

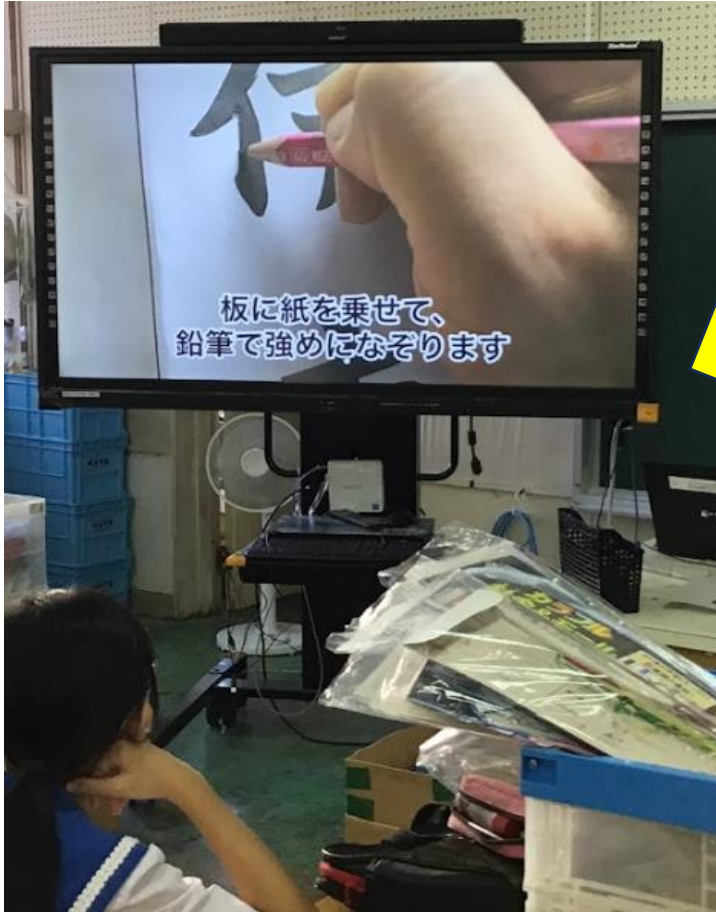
沖縄市立安慶田中学校

## 【取組内容①】 知識・技能の習得を目指して、Googleフォームでの振り返りやチェックテストの実施



- ・ 単元終了前のチェックテストや振り返りにGoogleフォームを活用してテストの実施
- ・ 自分自身の学びを振り返ることにより、メタ認知につなげ、自分自身の学び方への自己調整力の育成を目指す。

## 【取組内容②】 授業での動画教材の活用



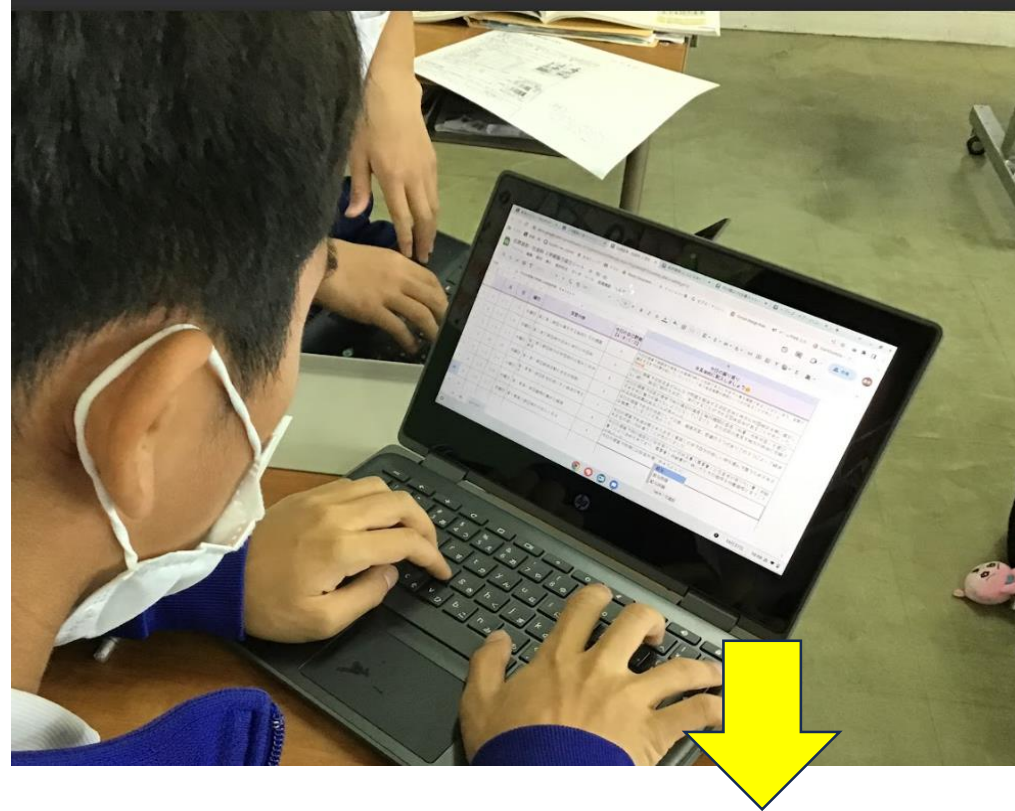
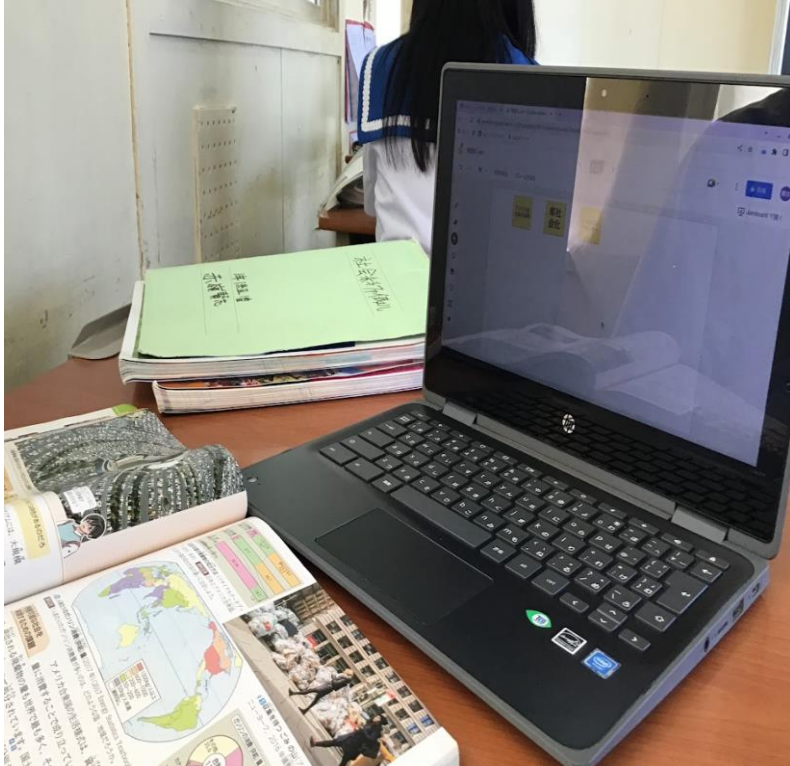
- ・電子黒板を活用して一斉に流していた動画をクラスルームに配布することで、こどものペースで学び進めることができるようになった。
- ・本時の学びの補完としてYouTubeを活用して自力で学び進めるようになってきた。

## 【取組内容②】 キャリア教育の視点で県外講師とオンライン授業の実施★第1回目



- ・総合的な学習の時間を活用し、県外の企業の方を講師にキャリア形成に向けた授業をオンラインで実施。

## 【取組内容③】 授業での学習内容を家庭で補完する家庭学習の実施



- ・授業の中で学んだことを、スプレッドシートに振り返りとして記入し、クラウド上に保存。
- ・端末を持ち帰り、振り返りの内容をもとに家庭での自己の学びに生かす。



【取組内容④】校務におけるGoogleアプリ・クラウドの活用

チャットを活用して指導助言をいただき主事と指導案検討も実施。

3 学年道徳指導案 (2).docx

6月19日、月曜日

6月19日, 12:30

[https://docs.google.com/document/d/1ahrBePMv8C1MUTRrRQ\\_jmLmyhrtKfFUQm4Wwl4/edit?pli=1](https://docs.google.com/document/d/1ahrBePMv8C1MUTRrRQ_jmLmyhrtKfFUQm4Wwl4/edit?pli=1)

3 学年道徳指導案

1. 主題名：生きていることの奇跡  
 2. 内容項目：内容項目D (1)生命の尊厳  
 3. ねらい：生きていることの奇跡と尊厳を理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を養う。  
 4. 主題設定の理由  
 5. 教材  
 方法  
 (1) 各教科から、授業のねらいに迫る内容を、授業1時間のねらいに統合できるように授業を組み立てる。  
 (2) 学年生徒の実態を鑑みて、空調・プレゼンテーションが良好に機能する場所を設定する(ランヂルーム?)  
 →ネット環境が不安定なため、3学年メディア変更 →※こちらの環境も要確認

3 学年道徳指導案

6月26日、月曜日

6月26日, 8:57

令和5年度 校内研究 第1期全教養研究会発表資料

今年度の校内研究テーマの達成は、協働学習の推進プロジェクトにおける「学びの共有」の推進を重点として、全教養研究会も実施する。

【協働学習推進プロジェクト】  
 本年度の研究「協働学習」は、協働学習の推進を重点として、全教養研究会も実施する。学びの共有を推進し、協働学習の推進を重点として、全教養研究会も実施する。

【協働学習推進プロジェクト】  
 本年度の研究「協働学習」は、協働学習の推進を重点として、全教養研究会も実施する。

【協働学習推進プロジェクト】  
 本年度の研究「協働学習」は、協働学習の推進を重点として、全教養研究会も実施する。

学年道徳 | 2023・6・5 学年会提案

1. 主題名：生きていることの奇跡
2. 内容項目：内容項目D (1)生命の尊厳  
生命の尊厳について、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。
3. ねらい：生きていることの奇跡と尊厳を理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を養う。(教師用指導用図書より抜粋)
4. 主題設定の理由  
生命を尊ぶということは、かけがえのない命を愛おしみ、自らもまた多くの命によって生かされていることに気づくことである。命の尊厳に気づかせ、命あるものは思いに支え合い、生かされていることに感謝の念を持たせたい。また、人間の生命は、安心安全な人間関係の中でこそ保たれるということについても考えさせ、ほかの生命を尊重する心情を育てることにつなげたい。(教師用指導用図書p. 4・6より抜粋)
5. 教材  
(1)各教科の観点から「生命について考える」素材を提示する。  
①理科：人の

方法  
 (1) 各教科から、授業のねらいに迫る内容を、授業1時間のねらいに統合できるように授業を組み立てる。  
 (2) 学年生徒の実態を鑑みて、空調・プレゼンテーションが良好に機能する場所を設定する(ランヂルーム?)  
 →ネット環境が不安定なため、3学年メディア変更 →※こちらの環境も要確認

1. 期日 令和5年6月26日(月) 5時間目
2. 対象 3 学年
3. 授業者 3 学年職員 T1 司 T2 知花
4. 学年の実態  
(1)良い点  
入学当初から、明るく元気で活発である。「考える」ことが少し苦手だが、「動く」ことが得意。ここ数年コロナ禍を乗り越えて、毎日の部活動練習に励み優秀な成績を残し、学年としての盛り上がりがあり、学校全体の奮闘力と期待できる学年となった。  
1 学年からの職員への学習努力と、関わりと、ケアによるところが大きい。これまでの先生方の、どの指導がどのようにこの子たちに効を奏したかについて記録しておくことが、今後1年の糧となりそう。(よかったことも、悪かったことも、今後の指導のサンプルとして共有したほうがよい)
- (2)改善点  
じっとしていることが苦手な子が多い。  
事態にたいして突発的に発音したり行動することや生徒が多く、その流れに全体が引っ張られることが多々ある。それが好ましい方向のときはすばらしいエネルギーとなるが、そうでないときの感情に任せただけだと、教師側からの理屈だけでは決して納得せず、反旗を翻す危険をはらむ。

ねらい→授業のこの場で、何を考えさせたいか(中心発問は) 本時ではどのような所像相を育てたいのか。

献章の日、平和学習までつなげると話が大きくなりすぎて無理があるかなあと思いついた今日このごろ。 生命尊重に限定するべきか?

自作教材を作るにあたって、教科横断的な視点で授業づくりをしたのでよかったです。別業との関連はありますが。

実態に関して、私の主観です。先生方のそれぞれのみとりをコメントしていただければ幸いです。

これまで指導案は、ローカル環境の文書作成ソフトにて作成していた。今年度より、ドキュメントを活用して作成。作成途中でチャットにて、校内で共有を図り随時コメントを入力してブラッシュアップを図った。また、授業当日も端末にて指導案を共有しているため基本、ペーパーレスで授業研究会を行った。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立安慶田中学校

【取組内容④】 チャットを活用し、授業だけでなく校務における情報共有の即時化を図る



沖縄市立教育研究所研修係長 さんが ICT推進コーディネーター 富間 さんの役割をスペースの管理者に変更しました

動画は、個人のベース



これまでは、紙で共有していたこともファイルを共有して協働編集、伝達事項もチャットにてアップ

今後は、授業での活用の様子を随時共有し、活用を広げていきたい。